

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (Sr)  
 2021年度 第4四半期

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		分析機関
			Sr-90 (Bq/kg(生))	参考 Cs合計 (Bq/kg(生))	
小高区沖合3km付近(T-S2)	ガザミ(全体)No.1	2022/2/10	7.8E-02	4.0E+00	KANSOテクノス
小高区沖合3km付近(T-S2)	ムシガレイ(全体)No.1	2022/1/18	< 7.8E-03	3.8E+00	九州環境管理協会
2F敷地沖合2km付近(T-S7)	コモンカスベ(全体)No.1	2022/3/25	< 1.3E-02	3.8E+00	九州環境管理協会
2F敷地沖合2km付近(T-S7)	マコガレイ(全体)No.1	2022/2/25	2.7E-02	7.3E+00	KANSOテクノス
熊川沖合4km付近(T-S8)	コモンカスベ(全体)No.1	2022/2/3	9.4E-02	3.9E+00	KANSOテクノス

- ・核種毎の半減期：Sr-90(約29年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
  - ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
  - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
  - ・Csは可食部(筋肉)で測定、Srは骨を含む魚全体(内臓以外)で測定。
  - ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (H-3)  
 2021年度 第4四半期

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目				参考 Cs合計 (Bq/kg(生))
			H-3(Bq/L)		H-3(Bq/kg(生))		
			組織自由水型	有機結合型	組織自由水型	有機結合型	
熊川沖合4km付近 (T-S8)	ヒラメ(筋肉)	2022/1/27	6.8E-02	< 2.3E-01	5.4E-02	< 3.1E-02	ND
		2022/2/3	8.3E-02	< 2.4E-01	6.5E-02	< 3.3E-02	ND

採取地点	試料名	採取日	H-3 (Bq/L)
熊川沖合4km付近 (T-S8)	海水(表層)	2022/1/26	7.2E-02
		2022/2/2	8.0E-02
		2022/3/15	8.0E-02

- ・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号(<：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：一般財団法人 九州環境管理協会
- ・組織自由水型H-3とは、魚の筋肉に含まれる水分に含まれるH-3をいい、魚が生息する海水中のH-3濃度と比較される。  
 有機結合型H-3とは乾燥させた魚の筋肉に含まれるH-3をいい、乾燥させた魚の筋肉を燃焼させたときに発生する水分に含まれるH-3濃度を表す。
- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。  
 (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。